

- 平 平成 27 年度 般 会 計当初予算額

万6千

内 3.1 % の

'れることから前年度に比べ3千町税は、 固定資産税の減収が見

の減となりました。2年度に比べ3千883(産税の減収が見込

Ŀ

しました。衛生

地方交付税は、

特別交付税(震災復興

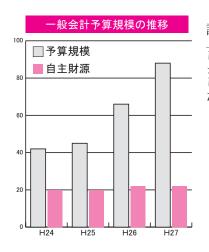
保険などの6特別会計87億6千万円となりま 会計の総額では、 般会計当初予算額の双葉町 6千万円となりま)双葉町 117 が29億7千85万2千円となり、した。国民健康保険、公共下水 りば、 の当初予算が決まりまし 億3千%万2千円となりまし 前年 国民健康保険、公共下年度対比21億6千万円 公共下水道 32 事 7 般会計と 業、 % 介增 護の

金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復旧事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害復田事業国庫金も公立学校施設災害後日をおりませる。 債源185 は、 0 % 振興交付金基金繰入金の増などによ繰入金は、中間貯蔵施設立地町地域5千円(30.8%)の増となりました。 万円 り16億7千 特別交付税分) 4千238万円(17.0 8干 %)の増となり、 って計上 臨時財 -900万円で、 % の減となりま 589 政対 しております。また、 万3千 の減などにより1 前年度に比 策債の発行 %)の減、 円 各種事業の (前 国庫支出 また、町年度比 額が 億 1

% 1 % •

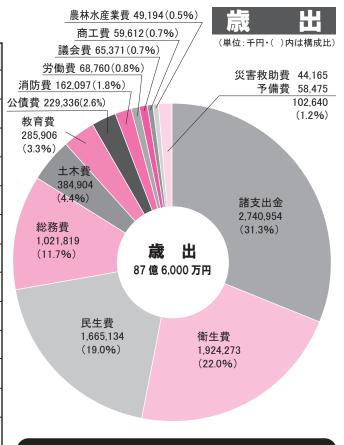
上

災パトロール 年円は、円 推進計画策定事業、 定事業や再生可能総務費は、双葉型 本構想策定事業などに係る経費を計 一度に システム運 しました。前年度に比べ3千78 29 3.9 前年度に比べ6億8千37万9 引き続いて双葉町内防犯 町民 の増となりました。民生費た。前年度に比べ3千%万 交流施設運営事 用支援事業、 事業やIC の減となりました。 町 エ 町内復興 ーネルギ 復興事業計 Tきずな支 Ì **光拠点基** デ業など | 興支 活用 • 画 防 前 干



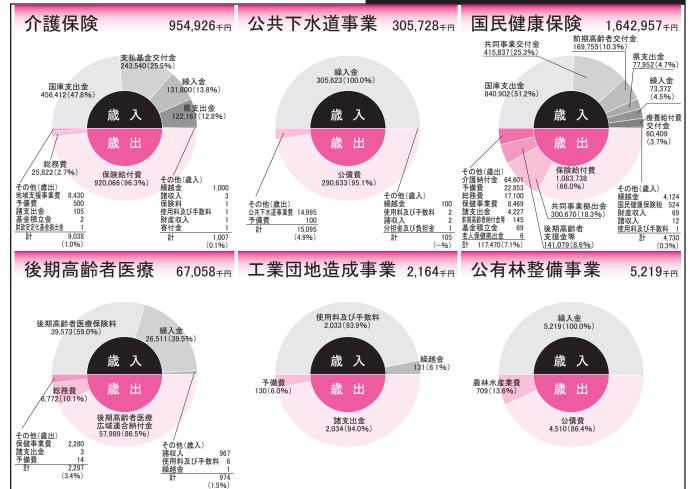
商工費には、双葉町商工会振興補助商工費には、双葉町商工会振興補助商工費には、双葉町商工会振興補助商工費には、双葉町商工会振興補助商工費には、双葉町商工会振興補助商工費には、双葉町商工会振興補助 難農業者一時就 2 干 には、 た。諸 りま 金 間貯蔵施設立地町 89万6千円 を計上したほかに、 護及び準 業振興に係る経費を計上しました。 以ばく検 〈事業などに係る予算を計上しま〕計上したほかに、地域スポーツ! |積立金など各種基金 Ė の予算を計上 算を計り (した。幼稚園就園奨励-48万5千円 (4.7%) 貯 石 引き続き計上し 支出金 緊急雇用創出基金事業に係 き続き計上しました。労働費検査や甲状腺検査に係る経費算を計上しました。また、内部蔵施設に関する地権者支援事 蔵施設に関する地を4千円 (781.9%) 要保護児童生徒就学援助 時就農等支援事業等の は前年度に比 農林水産業費には、 域振興交付金基)の増となり、 - 増となり、 塚生費は、17 べて 費 の デ援助費保 が減とな 16 金 農避 中億 る

目的別	事業名	事業費
	双葉町内復興拠点基本構想策定事業	3000万円
総務費	双葉町再生可能エネルギー活用・推進計画策定事業	4000万円
	双葉町復興事業計画策定事業	1600万円
	双葉町内防犯・防災パトロール事業	2億86万9千円
	ICTきずな支援システム運用支援事業	2億7662万3千円
	双葉町復興支援員事業	9500万円
民生費	家屋被害認定調査事業	4035万8千円
	臨時福祉給付金事業	3101万5千円
	町民交流施設運営事業	3080万2千円
	大字総会参加費助成事業	750万円
衛生費	中間貯蔵施設に関する地権者支援事業	17億1147万1千円
土木費	町道等環境整備事業	3200万円
教育費	集まれふたばっ子事業	1464万円4千円
教育賞	地域スポーツ振興事業	1224万4千円



特別会計予算

(単位:千円・()内は構成比)



町丁 民 0 皆さ ま

しては、 すみがうら市、 職員6名、福島県より派遣職員1名並び 交付式を行いました。今回は、 (と町民の皆さまの生活支援などの課題 (4名を迎え業務を開始しました。 町駐在員1名、 いわき事務所において双葉町 職員派遣をいただきましたこと、 富山県黒部市、 年度 のスタートとなる4月1 現状を理解され、復旧、 新潟県柏崎市におかれ 他自治体からの派遣 北海道泊村、 茨城県か 新規採用 ?職員辞令 日 改 復 ま

厚く御礼を申し上げます。 双葉町立幼稚園、 小学校、 中学校につ

緊張した面持ちで新たに入学されました。 稚園児1名、小学生2名、 らは新しく建設しました仮設校舎で授業 入学式には保護者の皆さま、多くの来賓 舎で初の合同入学式が行われました。 を行っております。 した仮校舎で再開し、8月(2学期)か きましては、 、成果を上げてまいりたいと考えてお 人数教育ならではの特色ある教育によ 方々のご出席を賜りました。本年度町 今後の町の将来の復興を担う子ども 生徒で1年間学ぶことになります の学校でしっかりと育てるため 小学生、 昨年4月民間の施設を借用 中学生で17名の園児、 **弘が行われました。幼** 4月6日には仮設校 中学生2名が

学園高校の開 同校は郡内で初の中高一貫校として 今回152名の新高校1年生の 4 月8日 校式、 入学式が行 広 野 町でふたば未来 われまし なられますよう心からご祈念申し上げます。 いいたします。 民の皆さまには、 緑の若葉が輝く季節となり

お

双葉町長

史

白河市、 福島市、 学び舎となります。 や子どもたちの未来のために尽力できる 、居募集が開始されております。 のため「ふたば 町民の方がまとまって入居できる郡 |月1日より復興公営住宅の 白河市、 南相馬克 郡山市、いわき市の他に新たに が期待されます。 来の双葉郡、 市、 相馬市の募集は今回 の教育復興応援団」が 三春町に建設されま 同校には各界 福島県の復興 第3期 今回は

ては3月25日より町内の仮置き場 を求めているところでありま 最後となります。 さて、 また、いわき市勿来酒井地区につい 県に段階的入居も含めて、 第4期以降の募集となります 原発事故に伴う除染土壌につい 早期 が、 現 7

存であ 復旧、 管場に搬入が開始されました。 や上下水道の被害状況調査などを行 置、また、避難指示解除準備区域 った賠償実施の要求、 めるため、平成27年度は、 ては環境省や各関係機関へこうした意見 様々なご意見をいただいており、 施設につきましては、町民の皆さまから への丁寧な対応を要請しているところです。 町民の生活再建、 復興の取り組みを進めてまいる所 改めてご理 町の復旧・復興を進 町民交流施設の設 ご協力をお 町民実態に沿 町とし の除染

元気でお過ごしに りました。 中間貯蔵 から保 福島県知事へ要望活動 復興祈念公園の整備について-

東日本大震災の犠牲者を追悼し、震災と東京電力福島第一原発 事故の実情と教訓を後世に伝える「復興祈念公園」について、 4月9日、内堀雅雄福島県知事に対して、馬場有浪江町長と合同 で要望を行いました。

復興祈念公園については、これまで両町が別々に要望していま したが、地震、津波、原子力災害を被った双葉町・浪江町にまた がるエリアに一体として整備することが、「福島の復興」の象徴と してふさわしいとして提示いたしました。津波被災地を一望する 高台や海岸防災林と一体となった海を活かした公園の整備、町境 にある前田川を活かした親水空間の整備等を求めました。

また、震災と原発事故の資料を保存・展示する「アーカイブ(記 録庫)施設」の併設についても強く要望しました。

内堀知事に対して、「全町避難を続けながらも、復興を目指す避 難区域にこそ整備されるべきである」と訴えました。

さらに馬場町長からは「この地域は、悲劇と奇跡を感じる場所で あり、追悼の意味でも整備してほしい」と訴えました。

内堀知事は、「できるだけ早く候補地を決定できるよう検討を 加速化させていきたい」と答えられました。

要望活動には、吉田栄光県議会議員にも同行いただきました。



仮設住宅設置市町村等に 対するあいさつまわり

4月9日、10日には福島県内の仮設住宅 設置市町村等に対して、避難生活を送る双葉 町民への対応の御礼と感謝の気持ちを伝える ため、福島市、郡山市、いわき市、白河市、 会津若松市、猪苗代町、川俣町の各首長を訪 問しました。

各首長に双葉町の現在の状況を説明し、 間貯蔵施設に対するこれまでの対応や除染計 画など復興に向けて取り組んでいることを伝 えました。そして、引き続き双葉町民に対す るご支援とご協力をお願いしました。

【の髙野幸二さんから賀寿と祝い品

かいご支援をありがと

がめでたく満百歳の誕生

日を迎えら

避難先である埼玉県加須市の介

3 月 24 日、

Щ

.田ヒメノ

っさん

(下条)



▲3月30日、 新常磐交通株式会社 代表取締役髙野将弘様 より義援金をお贈りいただきました。



▲4月16日、TOTO 株式会社(張本邦雄会長)様より、双葉町へ の復興支援金として、ご寄附いただきました。

寿と祝いの金杯が伊澤町渡され、続いて福島県知 双葉町からの賀寿と敬老祝い金が手式では、初めに伊澤史朗町長から 次に双葉町老人クラブ連合会副会されました。 んこを身にまとい、うれしそうに微から贈られた赤い帽子とちゃんちゃ 少し緊張した面持ちで、 ぎり絵などが飾られ、ヒメノさんは 山田ヒメノ様」とお祝いの言葉とな面には職員の方々により「祝百歳 護老人保健施設ケア・ビレッジシャ 笑んでいました。 ロームにおいて賀寿式が行われまし 田ヒメノ様」とお祝いの言葉とち ア・ビレッジシャロ いの金杯が伊澤町長より伝達続いて福島県知事からの賀 子どもたち 1 内の

の おめでとうございます

祝いの言葉を述べられ、賀寿を祝い続いて佐々木清一町議会議長がおい」とお祝いの言葉を述べました。 私ども後進のためにご指導くださいます。これからも健康に留意され、らの献身的な支えがあったものと思 られたのは、 の変化にもかかわらず、 が贈られました。 伊澤町長は「震災による生活環境 家族や周囲の皆さまか 百歳を迎え

仁田真由美さんが花束を贈呈しまし になりましたが、 してお礼と感謝の言葉を述べ、 元気な日々を過ごしているそうです てお礼と感謝の言葉を述べ、孫の長男の新川正幸さんが親族を代表 ヒメノさんは震災後、 好き嫌いなく食べ 足が不自由









が仮設校舎体育館で挙行されました。幼稚園、小学校、中学校の入園・入学式り注ぐ4月6日、平成27年度双葉町立 場しました。緊張の面持ちで着席した子 かれた幼稚園児、新入学児童、生徒が入の温かい拍手に迎えられ、先生に手をひ しました。 呼名を受け、 どもたちは一人ひとりが担任の先生から 在校生や来賓の方々、保護者の皆さん 春のうららかな日差しがやわらかく降 大きな声で元気よく返事を

分を大切にし、夢に向かって努力という 友達の話をしっかり聞ける子どもになっ 双葉北小学校長が新入園児、 道を歩み始めましょう」と式辞を述べま てほしい」、中学生には「今も将来も自 元気よくあいさつや返事ができ、先生や 語りかけるように、小学生には の一人ひとりの名前を呼びながら優しく 続いて、 渡邉由起子ふたば幼稚園長・ 児童、生徒 「笑顔で

祝いました。 伊澤史朗町長、佐々木清一町議会議長が 祝辞を述べ、 半谷淳教育長が教育委員会告辞を述べ 子どもたちの入園、

受け取りました。 各学校長から一人ずつ教科書や祝い品を 幼稚園児、小、中学生が、学校ごとに園長 教科書授与、 在校生を代表して中学3年生の小谷野 並びに祝い品授与では、

張っていきましょう」と歓迎の言葉を述ださい。新たな目標に向かって一緒に頑 べました。 たことがあったら遠慮せずに相談してく 生徒が協力して活動してきました。困っ 人くんが 給食、 「私たちは学校行事や生徒会 清掃など様々な場面で全校

とをとても楽しみにしています。努力を いの言葉を述べました。 えて行動する人になります」と力強く誓 惜しまず、進んで学び、人の気持ちを考 続いて、 教職員の紹介や学校ごとに記念撮影を 新しい知識や技術を身に付けるこ 新入生を代表して木幡穣清く

行われ、 せている様子でした。 たちは明日からの通園、 した後、各教室でオリエンテーションが 子どもたちの入園・入学を祝うかのよ 先生からの話を聞いて、子ども 通学に胸を躍ら 花開く時を

迎えていました。 うに桜の花もピンクに彩り、

▲告辞を述べる半谷淳教育長



▲新入生代表誓いの言葉



▲在校生代表歓迎の言葉



▲教科書授与並びに祝い品授与

笑顔で記念撮影



▲ふたば幼稚園



▲職員紹介



▲双葉北小学校



▲双葉中学校

教育長からのメッセージー



「子どもの力、人の輪、意志力」で町の復興、教育の充実を!

子どもたちの持つ力、可能性

新年度にあたり、教育委員会としての今年度の抱負を述べたいと思います。

昨年4月の町立学校開校後この一年間で感じたことは、子どもたちの持つ力です。幼小中学校合わせて 16 名という少人数ではありますが、いわき市錦町に校舎が建ち、子どもが通い、教職員と子どもたちが共 に創りだす教育活動には、多くの町民が喜び、感動し、拍手を送りました。

このような光景は、町立学校だけではありません。昨年一年間、双葉郡内の全小中学校で取り組んだ、「ふる さと創造学」では、9月の中間発表(ふたばワールド2014)、12月の本発表(「ふるさと創造学サミット」)、更に は「子供未来会議」(7月、3月)や「ふるさと創造学研修旅行」(12月海士町)の一連の取り組みの中でも見られ ました。子どもたちの学習意欲、創造力(想像力、表現力が十分に発揮された取り組みでした。このような子ど もたちの頑張る姿に、多くの保護者、教職員、地域住民が感動し、自分達も頑張らなくては、と感じたことは間 違いありません。双葉郡内全体で、子どもたちの持つ力というものが再確認されたと思います。

「子どもたちの可能性。それは、大人を動かす力を持っていることである」とは、島根県海士町で、地域 の活性化に取り組んでいるIターン者の阿部裕志さんが述べた言葉です。「大人に言われても伝わらないが、 子どもに言われると響くことがある。たとえ仲が悪い大人同士でも子どもに言われると一緒に手伝う、まさ に大人を動かす力です」とも話していました。

このような子どもたちの持つ力に、我々大人たちは突き動かされながら、それぞれの町村の復興、教育の 充実を目指していけるのではないか、と感じています。そのためには、子どもたちの活躍できる場面、能力 そして可能性を発揮できる場面をできるだけ多く作りだすことが大人たちに課せられた任務なのではないか と思います。

学校教育の充実、それにより子どもの入学者をいかに増やしていくか。双葉町ばかりではなく、郡内各町 村共通の課題です。今年度は、この子どもたちの力を信じ、子どもたちの力に頼りながら、子どもたちと共 にこの大きな課題に向かっていこうと考えています。

人の輪、意志力

子どもたちの持つ力と同時に感じることは、人の力そして意志力です。これは、物事を成功させるための 必要な力としてよく言われることです。学校開校作業及びこの一年間の様々な取り組みの中で、実感したこ とでもあります。今後、町の復興そして学校教育の充実を図る上で、子どもたちの力とともに欠かせない力 であろうと思います。町立学校の開校にあたり、開校後も様々な形で関わった町民の皆さま、いわき市教育 委員会及び市民の皆さま、子どもたちのため支援の手を差し伸べてくれた多くの方々の力、思いが結集して 今日の町立学校の状況が見られたのです。もちろん、直接子どもたちと関わった先生方、保護者の力も大き いことは言うまでもありません。

このように町立学校開校に関わって、人の力を結集させる人の輪として結実できたのは、意志力である、 ということができるのではないかと思います。つまりは、町の復興を願う、学校教育の充実を願う多くの町 民の気持ち、思いが様々な人に伝わり、その思いに応えようとする実に多く人の力が結集し、支援の輪が広 がったように思います。こうした意志力の大切さ、人間の力の大きさ、可能性をより信じて行動することに より物事は絶えず前進するであろうし、今我々が抱える大きな課題も一つ一つ解決できるのではないか、そ のように感じています。

この一年間、我々を取り巻く状況には、町内外に大きな変化が見られました。今年度はより高いレベルで の変化を意図し、子どもの力、人の力、意志力を信じて、共通の思いを持つ多くの人々と共に力強く前進し ていきたいと思います。

双葉町教育長 半谷





○対象となるご夫婦

昭和40年に結婚されたご夫婦。及びそれ以 前に結婚され、自己申告の手続きをせず金婚 表彰を授与されなかったご夫婦。

○申し込み締め切り 6月26日(金)

【申し込み先】双葉町社会福祉協議会内 双葉町老人クラブ連合会事務局

担当:佐藤

2 0 2 4 6 - 8 4 - 6 7 2 5

幸せ金婚夫婦表彰の申し込みはお早めに!

一第29回しあわせ金婚夫婦表彰一

財団法人老人クラブ連合会では、夫婦がともに助け合い、 力を合わせてよき家庭を築き、社会に貢献してきたご労苦に 対し、金婚式(結婚50年)を迎えた夫婦に「しあわせ金婚夫婦」 として表彰状と記念品をお送りしています。申し込みは、原 則として自己申告による届け出となっています。

右記の要件に該当する方はお早めにお申し込みください。

双葉町立小・中学校教職員の人事異動のお知らせ

平成27年4月1日をもって、双葉町立小・中学校の先生方と 教育委員会の人事異動がありましたのでお知らせいたします。 長年、双葉町の学校教育及び教育行政にご尽力いただきました

お世話になりました

ことに対しまして心より感謝申し上げます。

職	名	氏	名	転 出 先 等
校	長	日野	俊隆	いわき市立入遠野中学校
教	頭	安齋	富男	退職
教	諭	佐藤	大志	広野町立広野小学校
養護	教諭	白土	裕子	退職
主	事	森	絢野	広野町立広野小学校

<双葉中学校から転出された先生方>

初状败	

職名	氏	名	転 出 先 等
非常勤講師	佐藤	瑞穂	南相馬市立原町第三中学校
栄養技師	小松	一江	双葉町立双葉北小学校

....

<双葉南小学校から転出、退職された先生方> 敬称略 <双葉北小学校から転出、退職された先生方> 敬称略

職	名	氏	名	転 出 先 等
教	頭	藤原	謙	大玉村教育委員会
教	諭	佐伯	貴子	いわき市立小名浜第二小学校



平成27年度

双葉町立幼・小・中学校教職員

このたびの人事異動により、平成27年度の双葉町 立幼・小・中学校教職員が次のとおり配置されまし たのでお知らせいたします。

平成 27 年度 双葉町立幼・小・中学校教職員名簿 敬称略 <ふたば幼稚園>

	職	名	氏	名	勤	務	先	等	
	袁	長	渡邉日	由起子	双葉北小	学校	長兼	務	
	教	諭	吉津	望美					
Γ	教	諭	小林	達也		•	•		

<双葉南小学校>

職名	氏 名	勤 務 先 等
校 長	菊池 泰高	いわき市立泉小学校より昇任
教 頭	横山 雄彦	
教 諭	吉田 智子	
教 諭	林 香世子	
教 諭	星 千尋	浪江町立幾世橋小学校より兼務

<双葉北小学校>

職名	氏 名	勤務先等
校長	渡邉由起子	ふたば幼稚園長兼務
教 頭	髙田 昌幸	南相馬市立鳩原小学校より昇任
教 諭	皆川 利道	
教 諭	髙玉梨枝子	いわき市立小名浜第三小学校より転入
養護教諭	吉野 裕子	双葉南小兼務
主事	小沼 綾奈	浪江町立請戸小学校より兼務 双葉南小兼務



∠羽笹山学校>

く双条中子が	X /	
職名	氏 名	勤務先等
校 長	伏見 康弘	
教 頭	川村 雅茂	
教 諭	小泉 尚久	
教 諭	小野美佳子	
教 諭	菅野 陽子	
教 諭	蓬田 信裕	
教 諭	鈴木 美和	大熊町立大熊中学校より転入 楢葉中、広野中兼務
教 諭	三瓶 ゆき	
教 諭	松本 涼一	
非常勤講師	菅野美奈子	いわき市立湯本第一中学校より転入
養護教諭	青木 寿江	
主査	遠藤美保子	

< 1 園 3 校共通>

職名	氏 名	兼務先等	
英語指導助手	フィリップ ジェリーマン	隔月騎西中勤務	
英語指導助手	アンソニー バラード		
スクール カウンセラー	比佐 淳一	主に木曜日勤務(福島県派遣)	
用務員	箭内 充		

興公営住

わ

磐に整備

を進 棟

団地

24 号

ぬの引きば

3

行われば

約 前 40 の

紀人が出席しい駐車場にお

がこの 早期完成に向け いしたい」 と祝辞を述べました。 層のご尽力を

営住· を受け取りました。 浪江町の代表の方に鍵が手 民を代表して泉田健 宅の完成を祝いました。 いてテープカットが行わ 大谷所長から富岡 さん **子渡され、** (鴻草 れ が 興 双前 鍵葉 公

生活を送りたい」と話し、 泉田さんは、「大変う ń 晴 Kの計50戸 1) れや、 おやかな笑 -ト 5 階

を見せていました。 湯長谷団地は、鉄筋コンクリ 部屋は2LDKと3LD |帯の双葉町民の方々が入居します。

きな機会となるものです。 避難者が生活再建に向けた一

伊澤史朗町長は ·きたい」とあいさつ

わき市に湯長谷団

地が

入居ができる運びとなったことは、

歩を踏み出す大

が主催者を代表して

よう、

復興公営住宅の整備を進

者が わき

が安心して生い建設事務所

しまし

た。

式では、

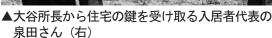
大谷

誠

島 避難

県 11

県内各地に整備される復興公営住宅







「双葉町農と福祉の連携によるシニア能力活用事業」 のご案内

一ご活用くださいー

シニア能力活用事業とは、農と福祉の連携 促進による新たな営農・雇用形態の創出を図 る観点から、避難先の仮設住宅等に入居者が 利用できる農園を設置し、農村高齢者による 技術指導の下で被災者の農作業を通じた心身 のケアを支援するための事業です。

【問い合わせ先】 産業建設課 産業係 **2** 0 2 4 6 - 8 4 - 5 2 0 9

1. 対象経費

消耗品費(資材費、種苗費等)、賃借料、修繕費、備品購入費、農地借上料等 ※備品は1品10,000円以上で3年間以上使用できるもの

- 2. 支援対象団体
 - 3つの条件を満たした団体が対象となります。
 - ① 仮設住宅等の周辺に農園を設置すること
 - ② 双葉町民で構成され、規約等を制定すること
 - ③ 農業経験のある65歳以上の高齢者を含む3名以上の営 利を目的としない団体であること。
- 3.助成額

補助率:定額(最高50万円限度)

福島県復興公営住宅(第3期)の募集について

福島県では、原子力災害により避難指示を受けている方が入居できる 復興公営住宅を4,890戸整備します。

このうち、現在、第3期分の入居者を募集していますのでお知らせし ます。

いわき市勿来酒井地区を含む第4期募集については、内容が確定次第 お知らせします。

双葉町民がまとまって入居できる復興公営住宅のうち、いわき市勿来 酒井地区を除く郡山市、南相馬市、白河市の募集は、今回の第3期募集が 最後となりますので、これらの復興公営住宅に入居を希望される方は、 期限内に申し込んでください。

今回の募集の後は、郡山市、南相馬市、白河市については空きがある場 合の再募集または他町村の方との共通入居住宅の募集のみとなります。

<対象者> 平成23年3月11日 において双葉町に居住 していた方

<申込締め切り> 平成27年

5月29日(金)

所在地	団地名	棟数	戸数	入居可能時期 (予定)	入居対象市町村
福島市	北中央団地 1~3号棟	3棟	6 4 戸	平成 28 年 4 月~ 9 月	富岡町·大熊町· 双葉町 · 浪江町・飯舘村
郡山市	東原団地3号棟	1棟	15戸	平成 28 年 3 月	双葉町
	鶴見担団地1号棟	1棟	15戸 (*)	平成 28 年 3 月	双葉町
いわき市	(小川町) 家ノ前団地(ペット可)	-	53戸	平成 28 年 4 月~ 6 月	富岡町・大熊町・ 双葉町・浪江町
			30戸		双葉町
白河市	鬼越団地(ペット可)	_	10戸	平成 28 年 7 月 ~ 9 月	富岡町・大熊町・ 双葉町・浪江町
	上町団地 4・5 号棟	2 棟	42戸	平成 28 年 10 月~ 12 月	双葉町
南相馬市	南町団地	1棟	15戸	平成 28 年 7 月~ 9 月	南相馬市·富岡町·大熊町· 双葉町・浪江町・飯舘村
三春町	平沢団地(ペット可)		5戸	平成 28 年 10 月~ 12 月	大熊町・ 双葉町
		計	249戸		

- (*) 鶴見担団地1号棟は全体で30戸であり、残りの15戸は富岡町を対象に募集されます。
- ※入居可能時期(予定)については、工事の状況により前後することがあります。
- ※今後、設計や工事の状況により変更される場合があります。

【入居申込書(募集案内)のご請求・お問合せ・申込書の送付先】

福島県復興公営住宅入居支援センター

〒960-8043福島県福島市中町8-2 福島県自治会館7階 ♥024−522−3320(受付時間:8時30分~17時15分(土・日曜日、祝日を除ぐ)) 詳しくは、復興公営住宅入居支援センターへお問い合わせください。

ii) 平成27年4月1日付けで異動がありました。()内は旧職名等です。

昇格・昇任・異動

新規採用

税務課 健康福祉課 吉田真代 岩城光隆

いわき事務所

生活支援課 教育総務課 藤原由美 赤石澤幸也

総務課 黒木アリシャ 7 7

産業建設課 小林博幸

福島県派遣職員

任保健師・生活支援課兼務郡 山支所味戸智子 健康福祉課・主幹兼総括主

再任用職員

秘書広報課・主幹兼課長補

総括参事 武内裕美

(富山県黒部市) 秘書広報課 浦田篤志

市町村派遣職員

教育総務課 **埜口浩司**

(北海道泊村

(新潟県柏崎市) (茨城県かすみがうら市) 復興推進課 復興推進課 鈴木薫 廣田春二

兼賦課徴収係長兼管理徴収係

住民生活課・課長補佐

管理者山本一弥 (税務課長) 書広報課長) 生活支援課長 (参事兼復興推進課長) 復興推進課長平岩邦弘 (秘 復興推進課・参事駒田義誌 会計

検査係長 産業建設課兼務 川陽一 (出納室・課長補佐兼 総務課・主幹兼課長補佐兼学 青年婦人会館長橋本仁 (教育 支所長) 秘書広報課長志賀 校教育係長) 税務課長井戸 山支所長) 健康福祉課長兼 公夫 (生活支援課・主幹兼郡

小野田真澄 (教育総務課・課 幹兼課長補佐兼福祉介護係長 長補佐兼生涯学習係長) 広報係長) 健康福祉課・主 秘書広報課・課長補佐兼秘書 !兼秘書広報係長板倉幸美 (

課・課長補佐兼学校教育係長 課・課長補佐兼生活環境係長 徴収係長池田秀一 (住民生活 務課・主幹兼課長補佐兼管理 (住民支援係長) 教育総務

高橋秀行 (税務課・課長補佐

愛沢隆志 (生活支援課・主任 査) 住民生活課・主任主査

師

生活支援課兼務

埼玉支所)

健康福祉

係長) 援課・総括主任主査 埼玉支 保健師) 出納室・総括主任 菜花昌子(教育総務課・専門 総務課・総括主任主査兼行政 佐兼国保年金係長大浦富男(係長) 健康福祉課·課長補 兼戸籍係長佐竹ひとみ(住民 (教育総務課・総括主任主査) 主查兼生涯学習係長吉野高光 所) 教育総務課・総括主任 支援係長井戸川洋子 (生活支 任主查兼生活環境係長兼住民 支所) 住民生活課・総括主 活支課・総括主任技査 郡山 技查兼検査係長髙木幸浩 (生 生活課・総括主任主査兼戸籍 産業建設課・主任主査兼産 総務課・専門保健師

志賀睦(生活支援課長兼埼玉

徳 (復興推進課・主任主査) 事務局・主任主査) 総務課 長志賀寿三 (税務課・主任主 長兼調査係長大浦寿子 (議会 主任主查兼総務係長兼議事係 業係長中野弘紀 (住民生活課 主任主查兼行政係長相樂定 主任主査) 議会事務局・ 税務課・主任主査兼賦課係

> 主事松本奈々(総務課・主事 進課・主事)復興推進課・ 設課・主事西牧孝幸 (復興推 副主査 埼玉支所) 産業建 查白石久美子 (生活支援課· 副主査) 秘書広報課・副主 主查柘植美淚 (秘書広報課 副主査秋元大輔(健康福祉課 設課・主査) 復興推進 活課・主査髙村和行 (産業建 健康福祉課・主査) 住民生 育総務課・主査加村めぐみ (福祉課兼務・郡山支所) 活支援課・専門保健師 課・専門保健師安部恭子(生 副主査) 健康福祉課・副 健康 課

郡山支所

生活支援課・主任主査 任主査兼住民係長朝田幸伸(課長補佐) 生活支援課・主 所長鈴木健一 (生活支援課・ 生活支援課・主幹兼郡山支

埼玉支所

保健師 主任主査兼産業係長 明間光一 (産業建設課・総括 括主任主查兼生活支援係長 課長補佐) 生活支援課・総 所長北崎周子 (生活支援課) 事務所) 生活支援課・主幹兼埼玉支 生活支援課兼務白瀬 健康福祉課・主任 いわき

> 師 綾乃(生活支援課・主任保健 健康福祉課兼務

フィリップ・ジェリーマン 教育委員会・英語指導助手 非常勤特別講師

アンソニー・バラード

地域振興山中啓稔 教育総務 課・生涯学習草野恵美の産業 下太志 建設課・農業振興 住民生活課・避難者支援森 復興庁任期付支援職員 復興推進課・復興、 埼玉支所

之 (関東経済産業局 産業省) 住民生活課中田貴 復興推進課米山治介(経済 経済産業省支援職員

退職 (3月3日付)

兼福祉介護係長) 子 (健康福祉課・主幹兼課長 とみ(健康福祉課・主任保健 英之 (健康福祉課・課長補佐 補佐兼国保年金係長) 渡邉 谷安子 (会計管理者) 熊豊 課長兼青年婦人会館長) 半 大住宗重 (参事兼健康福 長谷川さ



浩司(泊村) 浦田



篤志(黒部市)





智子 味戸



光隆



吉田 真代



春二(柏崎市) 廣田



鈴木 薫(かすみがうら市



小林 博幸



黒木 アリシャヨーコ



赤石澤



藤原 由美

平成27年度 軽自動車納税通知書について

平成27年度の軽自動車納税通知書を発送いたしましたので、 お手元に届きましたら車両番号などの内容をご確認ください。

現金により納付される方は、コンビニエンスストアで納付でき ます。

なお、納期限は6月1日(月)です。

減免について

- <u>※平成27年4</u>月1日現在、避難指示区域内に放置された車両に ついては、減免の対象となりますので、該当する方には、「軽自 動車減免申請書」を送付いたしますので、いわき事務所税務課 までお問い合わせください。
- ※減免となった車両については、事務処理後に納税証明書を送付 いたします。車検期間が間近かになっている場合は、お早目に ご連絡ください。
- ※平成23年3月12日以降に登録された車両を除く原付二輪・ 農耕用車両などの「双葉町」ナンバー及び250CC以下のバ イクについては、すでに減免として取り扱っております。





会・交流会が開催され、 るいわき市の海

15 日 16

日

春の日差

しと潮の香りが吹き抜

辺のホテル

にお

1) て、

長塚一行政区総

33人の懐かし

11 顔ぶれ

が集

葉の復興にはまだまだほど遠い現実がある中、 報道がされる反面、 の再会に元気が湧くひとときを過ごしました。 この通行や常磐道の全線開通 震災と原発事故後5年 事故の風化が叫ば -目を迎 など、 え、 復旧 玉 道6 れ ふるさと双 復興が進 号 1 般

両

江尻邦夫前教育長の瑞宝双光章の受章報告がありま された方々の名前が読み上げられ、 木幡智清区長から、 黙とうを捧げました。 ここ最近の中でも6名のご逝去 。また、 明るいニュースとして 全員でご冥福を祈

課題」 出席 総会案件が審議された後、 いただき「双葉町における被災の現状と復興 について資料をもとに説明をしていただきま. 今年も伊澤史朗町長にご

の地権者に対する対応が、 いからない現実があることも痛感しました。 質疑応答の中で、 交流会では、 今年も「そうま こいしや~」 特に中間貯蔵施設に関して、 マスコミ等の報道だけ 0) では 新 政

平成27年 行政区 総会

した。 更けるのも忘れて語り合い

馬節で宴が盛り上が

り、

夜が

※木幡智清区長様より写真、 感じながら帰路につきました 今後の会のあり方を模索して かなければならないことを 方々の参 これからは特に若 加も促しながら、

ご提供をいただきました。

り

5月1日金 ~ 31 日(日)

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事 をはじめ、年金事務所などの特殊法人等の仕事について の苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関 等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じ ています。

また、5月1日(金)から31日(日)までの1カ月間は「福 島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。このキャン ペーン期間中は、県内の応急仮設住宅集会所等で相談所 を開設する予定です。

行政相談は、行政相談委員のほか総務省福島行政評価事 務所などでも受け付けしております。

なお、相談は無料で、相談者の秘密は固く守られます。 【問い合せ先】福島行政評価事務所

8 0 2 4 - 5 3 4 - 1 1 0 1

総務省では、双葉町を担当する行政相談委員と して、倉田 均さんを委嘱しています。



双葉 不町の行 政相 均さん(長塚 談 白河市在住

平成26年度下条行政区総会



請求の経過報告について承認され

ました。 損害賠償

-成26年度業務報告、

決算報告、

事は高萩文孝さんの進行により行

わ

語り合

食事をし 懐か

酒を酌み交わ 区での思い出

たため、

下条地

交流会では、

1年3カ月ぶりの再会とな

次の日

は、

開催され、

33人の方々が県内外

の避難先か

行政区総会及び交流会が1泊2日の日程で

月

日

日

わ

き市勿来温

泉

関

におい

て、

震災後3回目となる下条

ら参加しました。 総会に先立ち、 震災で犠牲になられた方

を捧げご冥福を祈りました。 避難先で亡くなられた方々に全員で黙とう

剣に耳 史朗 んでいることに安心した様子でした。 会参加に対して、 経過、 いただきました。 総会では、 町長から、 来賓として参 を傾けながら少しずつでも復興 施策の取り組み状況について説明 作本信一 双葉町 お礼と感謝 参加した皆さんは、 加 の町 区長が遠方 していただいた伊澤 政運営や復興等 のあ さつを が進

だだきました。
だだきました。 写※



途につきました。

楽しみにそれぞれ

避難指示解除準備区域での

双葉町特別地域内除染実施計画に基づき、避難 指示解除準備区域(両竹地区、中野地区、中浜地区) の除染を行います。

除染は、建物(解体を希望された建物は除く)や庭、農地、 森林(宅地・農地等の生活圏から斜距離で20m以内)、 道路等を対象に平成28年3月の完了を目指します。

除染工事では、除染対象の建物や農地等の放射線測定 を行った後、建物では拭き取りや高圧水洗浄など、農地で は除草や堆積物の除去を主に実施するほか、森林では刈 払い、堆積物の除去など、道路では堆積物の除去や高圧水 洗浄、側溝の底質物の除去などを行います。

また、併せて除染により生じる土壌等を保管する仮置 場も造成します。

これらの工事は、環境省から除染工事を請け負っ た事業者である、「前田・奥村・田中特定建設工事共 同企業体」が実施します。

除染工事中には、交通規制等、色々とご迷惑 をおかけいたしますが、当該地区の皆さまを はじめ、町民の皆さまのご理解とご協力をお 願いいたします。

【問い合せ先】

環境省福島環境再生事務所 県中県南支所 **2** 0 2 4 - 9 8 3 - 0 7 0 9

員が出席していわき・まごころ双葉会の平成27 伊澤史朗町長を来賓として迎え、 月 74 日 いわき市内郷町の常磐教会におい 68人の会

年度通常総会が開催されました。

、黙とうを捧げました。 岡田常雄会長のあいさつの後、 総会に先立ち、 震災以降に亡くなられた方々

行で議事が進められ、平成26年度事業実績、 監査結果報告について満場一致で承認 岡田会長の進 収

されました。

収支予算 承認されました。 続いて事務局より平成27年度事業計画 (案 についての説明があり、 拍手で 案)、

関心が感じられました。 祭り日帰りバスツアー」について会員の期待と 事業計画では、 6月例会として「潮来アヤメ

れました。 役員改選では、

町長就任以来から現在までに手がけた主な事業 話されました。 出会いのエピソードや不思議なご縁についても の説明や当面の行政諸課題等の取り組み状況に ついて報告がありました。 質疑応答では、 議事終了後、 伊澤町 ①北地区集会施設確保②移動 長から特別講演 。また、 思わぬ人との

手段を持たない町民への対応③帰宅時に片付け た際に出たゴミの始末などについての要望や質 丁寧な説明がありました。 会長に岡田常雄さんが再任 り教会での開催となりま 常磐教会様のご厚意によ 会場の確保が難しく が あ



所からのお知

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されて いる農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

間に対し、

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていた だきながら、皆さんが必要な情報、(農産物・土壌モ ニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、 資金・事業の紹介など)をわかりやすくご説明いたし ますので、お気軽にお越しください。

5月の日程は右記のとおりです。

行われました。

※いわき・まごころふたば会

真、記事のご提供をいただき 大橋庸一事務局長様より、写 で通常総会がスムーズに

したが、

良い雰囲気の中

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載 しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯 電話からご覧になれます(携帯電話のパケット料金に はご注意ください)

※時間:午前10時~正午

5月 8日(金)	葛尾村役場三春出張所 (三春貝山多目的運動公園管理棟)
5月14日(木)	双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町地内)
5月21日(木)	浪江町役場二本松事務所 (二本松市平石高田第二工業団地)
5月22日(金)	富田町仮設住宅 (郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所)
5月29日(金)	大熊町役場会津若松出張所 産業建設課内

【問い合わせ先】双葉農業普及所

 $0\ 2\ 4\ 0\ -\ 2\ 3\ -\ 6\ 4\ 7\ 4$ FAX 0240-27-4747 川内普及所(川内村農村振興課内) $0\ 2\ 4\ 0\ -\ 3\ 8\ -\ 3\ 4\ 3\ 4$

付金制度のお知らせ

住まいの復興給付金制度とは、復興庁が東日本大震 災により被害が生じた住宅(以下「被災住宅」という。) の被災時の所有者が引き上げ後の消費税率が適用さ れる期間に、被災された方の住宅再取得や被災した住 宅の補修に係る消費税の負担増加に対応するための 措置です。

- ■被災住宅(東日本大震災により被害が生じた住宅とは…
- 1. り災証明書で「全壊(流出)」「大規模半壊」「半壊 (床上浸水)」「一部損壊(床下浸水)」の認定を受け
- 2. 原子力災害による避難指示区域等内にある住宅

■申請方法について

- ・申請は、再取得した住宅、または補修工事が完了した 被災住宅が引き渡された後に行うことができます。
- ・申請書は、お近くの復興局または「住まいの復興給付 金事務局」ホームページより入手できます。

【問い合わせ先】

- 住まいの復興給付金事務局
 - **2**0570-200-246
- ※5月11日からは 20120-250-460 になります。 受付時間:午前9時から午後5時(土・日、祝日含む) URL: http://fukko-kyufu.jp/

	新築住宅を「建築・購入」し、または中古住宅を「購入」した場合	被災住宅を「補修」した場合
対象者	(1) 被災住宅を所有していた者(2) 再取得住宅を所有している者(3) 再取得住宅に居住している者※(1) ~(3) の要件すべてを満たしていない場合についても、各要件を有する者が共同で申請する場合、給付を受けることができます。	(1) 被災住宅を所有している者(2) 被災住宅の補修工事を発注した者(3) 補修した被災住宅に居住している者※(1) ~(3) の要件すべてを満たしていない場合についても、各要件を有する者が共同で申請する場合、給付を受けることができます。
対象住宅	消費税率8%または10%の適用を受けている 期間に、建築・購入された新築住宅、または宅建 業者が販売した中古住宅	消費税率8%または10%の適用を受けている期間に、補修した被災住宅



およそ200人が1 した約2m 1. 3 年間 m ロのキル 品かけ トに

中心となり原発事故により避難ランティアグループ『てわっさこのキルトは、ボストン在住 されたもので、代表の八代さんは「多 には未来への願いが込められ くの方が皆さんに心を寄せ、 いる双葉町民を勇気づけようと製作 と話していまし 『てわっさ』 キル が

込んだキルトが国境を越えて埼 加須事務所で、 れました。 市の双葉町埼玉自治会へ贈呈 の方々の応援メッ アメリカのボスト セージを縫い 住 0) ボ

加須

議会加須事務所のホ 温 最後に皆さんも一 このキルトは、 かい交流に笑顔があふれました。 双葉町社会福 緒に刺繍を ルに飾られて 加

双葉町社会福祉協議会 の思いがこもった細か 刺は しながら眺 た自治会の皆さんは、 繍してあります。 丰 各国の言葉やイラストが丁寧に ル ぬくもりを確かめて この日訪れてい たくさんの方々 い刺繍に感心

ボストンからのメッセー

3月12日、

一健康生活のススメー

減塩で健康に

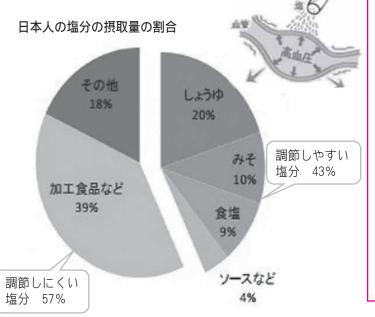
健康のために減塩するのがよいこととわかっていても、 なかなか実行するのは難しいものです。平成25年の調査 によれば、日本人の平均的な 1 日の食塩摂取量は、男性が 11.1g、女性が9.4gで、年代別にみると男女とも60 歳代がもっとも多いそうです。とくに冬が寒い東北地方で は食塩の摂取量が多く、福島県にも同じ傾向があります。 同じ調査で、収縮期血圧(上の血圧と言われる数値)が1 40以上の方の割合は、20歳以上の男性で約40%、女 性で約30%であることがわかりました。

高血圧は双葉町の方にとっても大きな課題です。健診結 果を震災前後で比較したところ、高血圧と肥満、糖尿病な どが増えていました。これからも元気で毎日過ごすために、 できることから始めてみませんか。

そこで、調味料の減塩から取り組んでみましょう。しょ うゆのほか、だしの素、みそ、ケチャップ、ソース、コンソメ、 食塩、料理酒そのものなど、さまざまな減塩や食塩不使用 の調味料が市販されています。はじめはもの足りないかも しれませんが、必ず慣れますし、小さな積み重ねが減塩に つながります。

だしのうま味をきかせると、食品本来の持つ美味しさが 引き出されるため、減塩に有効です。うま味と塩味には相 乗効果があって、一緒に使うとお互いの味をより強く感じ るためです。

何気なく使っているだしの素ですが、塩分が多く含まれ ています。かつお節や昆布でとった天然だしの塩分が 0.1 %ですが、その数倍になります。今回は簡単なだしのとり 方を紹介します。加熱しない水出し法と電子レンジを使っ た方法で、多めに作って冷蔵庫に入れておけば3日くらい 使えます。



簡単にだしがとれるレシピ

<材 料>

- ·水 1,000ml
- ·かつお節 10g(多めのひとつかみ
- ・昆布 10g(厚みのある昆布で 10cm×10cm <511)

水だし法

<用意するもの>

- 口の広いびんまたはプラスチックの容器、お茶パック <作り方>
- ①昆布ははさみで数か所切れ目を入れておく。かつお 節はお茶パックに入れる。
- ②水と①をびんまたは容器に入れ、冷蔵庫で一晩おく (寒い時期は室温でもよい)。
- ③昆布とかつお節は取り除いてから、保存は冷蔵庫で 3日、使うときは加熱する。
- ※時間があれば一度加熱してから冷ました水を使って ください。
- ※基本の煮出し法よりも薄いだしになります。

雷子レンジ法

<用意するもの>

耐熱容器、お茶パック

く作り方>

- ①昆布ははさみで数か所切れ目を入れておく。かつお 節はお茶パックに入れる。
- ②水と①を容器に入れ、ラップをふんわりかける(す き間を少しあけて)。
- ②500wで6分加熱する (沸騰させない)。昆布と かつお節は取り除いて、冷めてから冷蔵庫で3日間 保存できる。
- ※水に昆布を入れてから戻るまでしばらく置くとよい
- ※加熱の際、沸騰させると風味が落ちるので注意して ください。

茶こし法

ひとり分の汁物やお浸しに使うなど少量でよいとき におすすめの方法です。

<用意するもの>

茶こし、食器・容器など

<材 料>

水 1カップ (200ml) かつお節 3~5g (小分けのもの1袋程度)



生涯学習で 自分みがき・仲間づくり

教育総務課生涯学習係事業開催のお知らせ

~平成 27 年度婦人学級開級式のお知らせ~

婦人学級とは・・・町民の皆さんが自主的に参加・企画・運営を行う学級です。 若い方からお年寄りまで参加できる世代間交流の場です。

※たんぽぽ学級(郡山市)、さくら生活学級(つくば市)は男性も対象としています。 6月以降、婦人学級の個別通知(お知らせハガキ)を受取りたい方は、5月の開級式に参加 いただくか、必ず生涯学習係までお電話ください。**愛**0246-84-5210

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5月 5	帰人学級 6	開級式の	↑ ∂日程 ⁸	9
10	11 ○ <mark>桜婦人学級</mark> (いわき市北) いわき市文化 センター 1階大講義室 10:00 ~	12 ○栴檀婦人学 級(福島市) 福島市アオウゼ 小活動室 1 10:00 ~	13 ○ふたば婦人 学級 (会津若松市) 城前仮設集会所 13:30 ~	14	15 ひめ萩婦人 学級 (宮城県仙台市) 青葉区中央市民 センター 10:00 ~	16
17	18 ○ひまわり婦 人学級 (白河市) 郭内第二応急 仮設集会所 10:00 ~	19 ウすみれ婦人 学級(いわき市南) 双葉町役場 いわき事務所 2階 10:00~	20 しらゆり婦 人学級 (南相馬市) 原町生涯学習センター(研修室) 13:30~ たんぽぱ学級 (郡山市) せんだん広場 13:30~	21	22	23
24	25	26	27 12/21 〇さくら生活 学級(つくば市) つくば連絡所 10:00 ~	28 ○はなみずき 婦人学級 (加須市) ふたば交流広場 13:30 ~	29	30

【問い合せ先】双葉町教育委員会 教育総務課 生涯学習係 0246-84-5210

双葉町社会福祉協議会から

~健康運動教室、社協健康サロンのお知らせ~

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。 お気軽にご参加ください。



5月開催予定日

開催場所	住所・連絡先	開催月日	時 間		
健康運動教室					
双葉町コミュニティ施設 せんだん広場	郡山市御前南 2 丁目 73 024-983-1861	5月25日(月)	14:00 ~ 15:30		
郡山市 富田町若宮前応急仮設住宅集会所	郡山市富田町字町 15 024-983-9420	5月25日(月)	10:00 ~ 11:30		
福島市 飯坂町平野応急仮設住宅集会所	福島市飯坂町平野内小原田 8-1 024-573-2598	5月7日(木) 5月21日(木)	13:30 ~ 15:00		
南東北総合卸センター2階	郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1 024-973-5291	毎週火曜、水曜日 (祝日除く)	13:30 ~ 15:00		
白河郭内第二仮設住宅集会所	白河市郭内 151-29 080-6290-5930 (担当:開発)	5月12日(火)	10:00 ~ 11:30		
社協健康サロン					
会津若松老人福祉センター	会津若松市城東町 14-52 0242-26-6666	5月11日(月)	10:00 ~ 14:30		
南東北総合卸センター2階	郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1 024-973-5291	5月15日(金)	10:00 ~ 14:30		
勿来市民会館 1 階大会議場	いわき市錦町上川田 21 0246-62-3145	5月21日(木)	10:00 ~ 14:30		

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 024-973-5291【担当:泉田】

双葉消防本部からのお知らせ

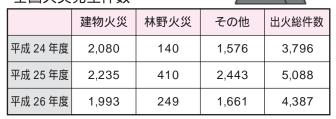
~無防備な 心に火災が かくれんぼ~ (平成27年全国統一標語)

油断は禁物! まだまだ空気が乾燥します

平成 26 年5月に全国で発生した火災件数は、4, 387件です。暖かくなり、温度も上がってきますが、 まだまだ火災が発生しやすい季節だということを忘れ ないでください。

問い合わせはお近くの消防署または

浪江消防署 0240-34-7360 富岡消防署 0 2 4 0 - 2 5 - 2 1 1 9 全国火災発生件数



林野火災の原因としては、たき火、火入れ、 たばこなど、不注意により火災が発生しています。 一人ひとりが注意し、林野火災を防ぎましょう!

「伝えよう 森の大事さ 火の怖さ」 (平成27年山火事予防標語)



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた お便りの一部をご紹介いたします

震災から4年が過ぎました。あの日(3.11)から 亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

また色々とご迷惑をおかけしたことをお詫びし、 心配りやお気遣いをいただきましたことに対しまし て、心から感謝しております。

私は、NHK、テレ玉さんより声がかかり、避難者 である双葉町のいち町民としての現在の状況を、友 人や親戚の方に知らせるための手段になるかと思い テレビ出演を決めました。その様子は3月9日にN HKで「震災4年 故郷との決別を詩に」と3月10日、 11日に「3.11 から4年、望郷の思い尽きず」と題し て放映されました。

今は、埼玉県の羽生市下小手林地区でお世話に なっております。優しい方々ばかりで、地区の一員 として見ていただいているような気がします。家族 一同感謝をしながら日々を過ごしております。

しかし、私たち家族の終着点はどこにどのように なるのでしょうか。歳を取ってくるとそのことが気 になってしまい、自分で考えても結論が出せないで

どなたか教えてくださいませんか。

3月30日記 柚原 秀康

人のうごき3月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏 名 生年月日 保護者 行政区 ました りょうき 記己 2月13日 勝利・恵理 細谷 松本 結愛 2月22日 剛幸・由貴 長塚二 板井麻也凪 3月1日 克也·早也佳 長塚二

お悔み申し上げます

氏	名	年齢	死亡日	行政区
川原	義春	9 5	2月27日	Ш⊞
横山	コウ	86	3月3日	羽鳥
折笠	芳照	68	3月8日	長塚一
松永	房喜	7 3	3月11日	寺 松
新郷	壽	83	3月14日	長塚一
鎌田	節子	7 7	3月15日	新 山
岩川	久一	8 9	3月19日	長塚一
大杉	卓二	5 1	3月22日	長塚二

開 遠 桜 冷え 丰 咲 年 災 が 花 友 き ま 航 0 た 7 路 無 里 傷 事 桜 気 春 を 春 跡 品 四 が 0 0 下 度 ま 上 0 79 目 る 度 ま で 向 ~ (丰 目 里 燗か 0 原 手 0 白点 0 難 春 酌 藤 酒 木 春 波 便 酒 0 蓮れ 康 里 $\widehat{\Xi}$ 字



れて

い桜ば花

な桃れを

梅る見

0





は、 辺 0 先 鳥 故 を 0 競 里 声 情 (10) 景 咲春聞 1) 00 て里て を 悲 も山は 賞かす 思 (

いる

出人

Z さ

꿃

内

雄

川李

色も 11 春 う 告 0 ŧ 1) 空 げ 咲 度 る 流 変 あ 机 春告 桜山 わ 聞 行 花 げ 丰 b 夢 雲 無 た 2 鳥 花 春 15 情 る を 故 や 里 目 眺 0 を 散 故。 昼 覚 む 寝 里 春 ま L 和 0 ば 雨 花

双葉町民の避難状況

偲

ば

る

故

里

0

景

(平成27年4月1日現在)

- ・福島県内に避難されている方
- 4.043人
- ・福島県外に避難されている方
- 2,958人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から 死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示 しています。

「人のうごき」については、連絡のついた方で、了 承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載し ています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご 連絡ください。 0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、 そして福島第一原子力発電所の事故により、私 たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もな お全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さ んが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと 双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さ んの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」と して連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さん の双葉町への思いと心の絆がより一層深まるこ とを期待いたします。





記録として次の世代へ







「ふるさと絆通信」であなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、町民の皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。 避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナー でお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

一想いを伝えるー

ふるさと絆通信は、株式会社鹿島印刷所(南相馬市)の記者が町民の 皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。 掲載する文章は、インタビューの内容をもとに記者が作成しますので、 インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はありません。



【問い合わせ先】 秘書広報課 20246-84-5202







となる一昨年末まで過ごしました。 過ごし、茨城県内の親類宅を経て妻らと合流 出され、川俣町内に避難している家族のもと その高台は津波による浸水とがれきのために と、ほとんどの方が悪い冗談のように思われ し、旧騎西高校に身を寄せ、同避難所が閉鎖 り先に川俣町を出て埼玉県内の親類宅に向か られない様子でした。その後、妻子らは私よ ても、無事であるという事実をにわかに信じ の時間を過ごしました。幸運にも自衛隊に救 陸の孤島状態となり、数日間、飲まず食わず の高台に走り込んで助かりました。 ますが、私は南相馬市内の国道6号線を車で に向かうと、妻や子どもたちは、私の姿を見 いました。一方、私はさらに数日間を同町で 走行中に津波に追いかけられ、 同市小高区内 しかし

仕入と散歩を兼ねて毎日のように足を運んで 月、間もなく避難生活も1年を迎えようとし れ、なるべく安静にしていた頃、 ようになり、ついに、体調を崩してしまいま 見てはうなされ、満足に眠れない日々が続く ている時にしたためた詩が「爺の海」でした。 いを詩に綴るようになりました。 平成24年正 いた請戸漁港の様子を懐かしんだものです。 小料理屋「四季山海亭」を営んでいた私は した。体を動かすのもあまり良くないと言わ 騎西に移って以降、大津波に襲われる夢を 故郷への思

> ら発売されることになりました。 ついに、今年5月20日、テイチクレコードか 中、マスコミで取り上げられるようになり、 した。この曲について口コミで評判が広がる 曲を付けて歌って下さり、デモCDができま ことが縁で、大泉さんと知り合い、この詩に 大泉逸郎さんの妻が南相馬市出身であった そんな中、ヒット曲「孫」で有名な歌手・

実は私、津波で帰らぬ人になったと思わ

と、何度も歌い直してくれました。 らが新人であることも忘れ、遠慮なく意見 ました。スタジオのガラスの向こうでは、 をぶつけましたが、大泉さんは嫌な顔一つ めて欲しい」などと、有名歌手を相手に自 いる中、「ここの部分はこういう思いを込 大泉さんがマイクに向かって喉を鳴らして ングが行われ、私は作詞家として立ち会い 過日、東京都内のスタジオでレコーディ 私の思いと故郷の様子を再現しよう

故郷への思いをしたため続けたいと思います。

いただいています。今後も、筆が続く限り、

現在、第2弾の曲について話を進めさせて

レコーディングの合間に大 泉逸郎さん(写真左)ととも に撮影。大泉さんの気さくな 人柄に初レコーディングも順 調に進んだ。



でるお明夫 こはた 幡 さん

(新山)

けが募る日々でした。

きない、何もすることが無い状態に焦燥感だ

うちは働こうかと思っていましたが、

何もで

とができず、避難後に退職しました。元気な 葉町同様避難区域となったため、操業するこ 会社に勤務していました。勤務先も私たち双

被災するまで、私は、浪江町内の木材加工

福島県いわき市

私は副会長を務めさせていただきました。 当町避難者自治会が結成されることになり、 周辺には双葉町・浪江町の皆さんが比較的多 パートに友人一家が入居していたり、福島市 ならずにすみました。そんな中、県北地域で く避難生活を送っているため、天涯孤独には に入居しました。同市では、入居していたア 経て、平成23年の秋に福島市内の借上げ住宅 アリーナから町の皆さんと合流しました。そ た宿泊施設等数カ所を経て、さいたまスーパー にある避難所や避難者を受け入れてくれてい 避難指示により町を離れてから、福島県内 旧騎西高校、ホテルリステル猪苗代を

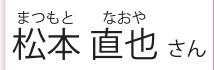
せるように心がけました。妻も私と同じよう いようで、なるべく友人・知人らと交流しなが などを通して、前記したような「何もできない、 にあまりじっとしていることが得意な方では無 何もすることが無い状態に焦燥感」を解消さ ことはありませんでした。また、自治会活動 同市では、不便さは感じなかったとはいえ、 福島市では、生活に不便さを感じるような 閉じこもらないようにしていたようです。

> 聞いていたものの、 べく故郷に近い場所と環境で生活したいと思 故郷を恋しく思う気持ちに変わりありませ 離れているものの、双葉郡方面にアクセスが ん。長期的に帰還が望めない状況の中、 良いところを確保することができました。 格の高さに驚かされましたが、市街地からは いわき市内で場所を探し始めました。話には い、子どもたちの仕事や将来についても考え、 当初、物件の少なさと価

気持ちすら感じられます。 なると思うと、肩の力がふっと抜けたような なっていた土いじりもようやくできるように 市内に移しました。被災当日からできなく 年間過ごした福島市から生活拠点をいわき 昨年10月、ようやく自宅が完成し、 約3

で物色されたような跡があり、加えて、猪ら と、閉めていた扉が開かれ、自宅内が人の手 開いていると連絡があったため見に行ってみる しき動物が侵入した様子になっていました。 たが、昨年11月、近所の方から自宅の入口が した自宅内を少しづつ整理したりしていまし 立入を続けています。立入の度、地震で散乱 避難以降、 悪天候時を除き、自宅への一時

講じてほしいものです。 でも、故郷に残された我が家は心の拠り処の めにも、今も続く侵入などの被害への対策は 他の土地で生活基盤を築いていますが、それ ようなものです。私たちの「心の復興」 帰還が難しい中、 私を含め多くの皆さんが



(新山)





たのではないかと思っています。 け、自分の将来を考える上で大きな糧となっ 意識のうちにそうした仲間達から刺激を受 出場経験のある各競技で名を馳せた同級生 が数多くいることには驚かされましたが、 震災に遭ったのは同大学3年生のときでし

その後、家族と行動を共にし、平成23年5月、 学校の授業再開に合わせて家族と離れ、学校 熊から走って自宅まで戻ることができました。 た。道路は各所で損壊し列車も不通になって 宅に帰省中で、友人らと大熊町スポーツセン 近くに借りていたアパートに戻りました。 いましたが、長距離走の経験のおかげで、大 た。被災当日、私は春休みのため双葉町の自 ターで遊んでいたときに大地震に襲われまし

きませんでした。また、震災を経て、運動な にわかにそうした現実を受け入れることがで うして別れなければならないのかと思うと、 生で、春休み前まで学窓を共にした仲間とこ の犠牲になりました。また、うち1人は同級 るはずでしたが、大学全体で学生3人が津波 り、同級生全員が再び顔を合わせることでき 通常より1カ月遅い3年生の新学期とな

> も何度かありました。 どこれまでの経験を生かして故郷の復興に少 ありましたが、意識が遠のくほど厳しい場面 防学校で訓練を受けます。 て勤務しています。採用後、半年間はまず消 し、その4月から同組合消防本部の職員とし にも願いが通じ、平成25年3月に大学を卒業 知り、応募して採用試験に臨みました。幸い 合で2年ぶりに消防職員の募集があることを なりました。そんな中、双葉広域市町村圏組 しでも携われる仕事に就きたいと思うように 体力には自信が

子どもの頃から体を動かすことが好きで、

も少なくありません。火災や事故の発生頻度 経験に繋がっていると思います。 少異なる傾向にはありますが、非常に貴重な います。配属地は、平常時の消防活動とは多 た「危険予防(防止)活動」にも力を入れて るため、防火、転倒防止、急病への対処といっ した点で同村はその発生件数は多くありませ は、一般に都市化の程度に比例するため、 た、高齢者だけが村に戻っているという世帯 始まっていますが、その多くは高齢者です。ま の地域で避難指示が解除され、住民の帰還が ています。同出張所がある川内村はほとんど ん。しかし、高齢世帯が相対的に増加してい 現在、私は富岡消防署川内出張所で勤務し そう

うになりたいと思います。 を受けながら、職務の遂行と能力の向上に 今後も、村民の皆さんや先輩たちに指導 故郷の復興に少しでも寄与できるよ



まみ とみやま 直 さん

(新山)

千葉県習志野市

まるで「2度目の修学旅行」のようでした。

り、同級生もバラバラになってしまったせいか、 りに同級生らと再会しました。全町避難によ ています。この1月、成人式を迎え、久しぶ 学科遺伝子工学コースに3年生として在学し

現在、私は千葉工業大学工学部生命環境科

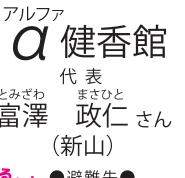
学校を受験して合格することができました。 うなものを感じていたのかもしれませんが、生 読むことが大好きで、自然科学への憧れのよ 押してくれました。私は幼い頃から、 たようで、自分のやりたい道に進めと背中を 私の胸の内を親と学校の先生はよく分ってい ではと思うこともありました。しかし、そんな 命について勉強したいと思うようになり、 したが、避難の状況をみて諦めた方がいいの 高校入学後、大学に進みたいとは思っていま サテライトで2年間の学校生活を送りました。 私が震災に遭ったのは浪江高校1年生の時 避難後、二本松市内に設置された高校の 図鑑を

影響についての知識を得ることができました。 る中で、放射能や放射線の性質や、人体への た。授業中、大学で教鞭を執る立場にある人 害が相当に存在していることも理解できまし 事故を起こした原発を含め、今の故郷は決し 就学支援制度の助けを借りながら勉強を続 れば起き得ないような影響、いわゆる風評被 けることができています。 また、 勉強を続け て安全な状態ではありませんが、知識さえあ 入学後、家族や友人、奨学金など様々な

> その時は泣いてしまいました。 が心無い言動を発したこともあり、 さすがに

う中を松葉杖を使って動くのは大変なことで す。「双葉では車も使えるし、周りの人も助 が発達して便利とはいえ、人が多く行き交 を感じましたが、ある日、見知らぬ中学生に けてくれるのにな」と都会ならではの寂しさ 活を送りました。都会では、 術後しばらく、松葉杖を使用しながらの生 なっているのはそれほど多くありません。昨 登録されたクラブです。現在、多くの大学に その名の通りよさこい踊りのクラブですが、 には、思わず眼が潤んでしまいました。 よさこい踊りの組織はありますが、体育会に スポーツ競技と同じように「体育会」として 風神部」に所属し活動しています。この部は 「手伝いましょうか」と声をかけられたとき 大学では勉強の傍ら、「よさこいソーラン 練習中に足のじん帯を痛め手術を受け、 公共交通機関

ることも考えたいと思っています。 の一つですが、故郷を揺るがしている放射 い時期に入りつつあります。就職も選択肢 すが、卒業後について考えなければならな ることが故郷の復興の一助になるのであれ て勉強していますが、もし、専門にしてい 傷付けることです。 能汚染の脅威は、 大学生活も後半に入り、少し早いようで より深く研究することにチャレンジす 放射線が人間の遺伝子を 私は遺伝子工学につい







える不思議な物質で、 単なる匂いではなく、 いて勉強していました。 の売れ行きが大きく左右されます。香りは 料の場合、 て研究開発や製造を行う会社です。 香粧品などに用いる「香りのもと」につい か想像は付きづらいかもしれませが、 ました。「香料会社」といっても、 香料会社の調香師として20年間勤務してい した。高校卒業後、大学、大学院を経て 脳が心地よく感じる香り」か否かで、 の刺激が健康にもたらす影響や整体につ 私は双葉町で生まれ、 味覚で美味しいと感じる以上に 動物の脳に刺激を与 同社勤務の傍ら、 高校まで過ごしま 食品香 なかな そ

離れ、 故郷の皆さんと触れ合いながら営業を続け をメインにしたα 健香館を開業しました。 り同年4月にカイロプラクティックの技術 年を待たずに休業を強いられました。 ていましたが、 ほど横浜市内で生活しました。 親類を頼り神奈川県内に身を寄せ、 家族と共に福島・山形・新潟の各県を経て、 したが、平成21年、 進学や就職等でしばらく町を離れ 前職の仲間たちの助けなどもあり、 原発事故により開業から2 会社を退職し実家に戻 1年半 っていま

できるようなところを探 会社で契約社員として働きながら、 同 が暮らす 市では前職の経験を活かして後輩 いわき市内で店舗兼住 現在 い物件 宅に 妻の

> と巡り合うことができ、 再開しました。 平成 24 年 9 月

> > に

すが、 います。 整体」ではなく、脳から発するゆがみの反 骨院のように保険適応にもならない施術 を突き止め症状を改善させる施術を行って 来の理想の姿勢である「直立」できる身体 えて続けていこうと思っています。 応を取る高度な技術です。時間を要し、 を作れば自然治癒力が最大に発揮される理 施術を行っていましたが、 者がいらっしゃる限り、じっくりと腰を据 論に基づき、特殊器具を使用し痛みの原因 震災前は゛ほぐしと矯正゛ この技術で辛い症状から救われる患 よくありがちな「マッサー 再開 を中心とし 後は人間 ジ的 で な 本

ロジー 毎週水曜日限定ですが も引き続き妻が行っています。 「英国式リフレ ク



アルファ健香館 **〒970−8045** 福島県いわき市郷ヶ丘2丁目37-5 電話(0246)38-9928 ★お気軽にお電話下さい★



茨城県日立市立櫛形小学校6年 橋本 葵 さん(下条)

私の将来の夢は、動物病院の先生になることです。そのきっか けは、食糧もない場所で育った犬のテレビ番組を見て、やせ細っ た犬や病気になってしまった動物を元気にしてあげたいと思った からです。

私は犬を飼っています。私は犬の世話が好きです。特に犬の散 歩が好きです。世話をしてあげるとしっぽを振って喜ぶのでとて もかわいいです。でも、世の中には、かわいがってもらえない犬 もいます。私はそんな犬を一匹でも減らしたいと思います。

私は今できることを今以上に精一杯取り組んで、少しでも夢に 近づけるようにがんばります。

今月号からはホームページにも掲載してあります教育長メットリースを出す。 震災以降は、災害版として発行して発行します。 震災以降は、災害版として発行して今月号で48号となりました。 当時は双葉町に帰れるまで災害版として発行していくということでしたが、月日とともに災害版がとれる日がでいくということでしたが、月日とともに災害版がとれる日が遠くなっていくように感じます。 んでいただけるような「広報ふたば」にしていきたいと思いまっ年度も、より内容を充実させ、町民の皆さまに楽しみに読 セージを毎月掲載していきます。 わず深呼吸 したくなるような風が吹き抜

町立学校を訪れた藤田雅双葉警察署浪江分 庁舎所長(後列左から2人目)と井上芳和双

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213

の笑顔です。

✓ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

5 024-973-8090

FAX 024-933-5120

✓ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105

埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階

葉駐在所主任(後列左から3人目)と小学生

5 0480-53-7780

FAX 0480-53-7266

⊠ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/

携帯サイト http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/

○双葉町公式フェイスブックページ つなげよう つながろう ふたばのわ

http://facebook.com/fukushima.futaba

